

# サブドレン他浄化装置pH緩衝塔設置における 使用前検査について

---

2019年11月14日

東京電力ホールディングス株式会社

**TEPCO**

# PH緩衝塔の寸法検査について（1 / 3）

- PH緩衝塔の寸法検査は、実施計画記載項目に対して、下記の要領にて実施する。
- なお、寸法測定は、以前実施している吸着塔の使用前検査寸法検査と同等として実施している。

## ● 実施計画記載主要部位寸法

d. pH 緩衝塔

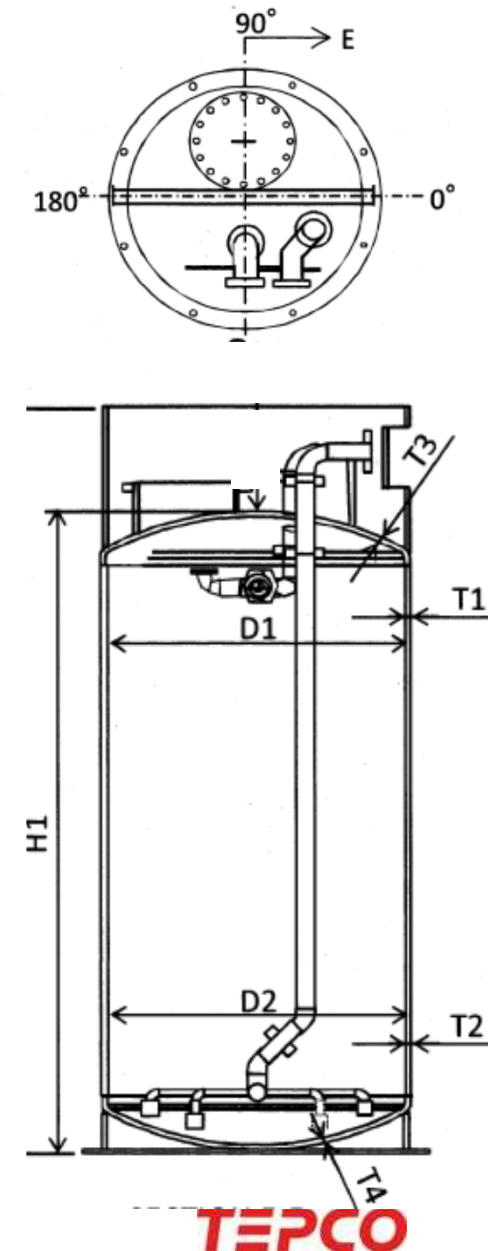
名 称		pH 緩衝塔	
種 類	—	たて置円筒形	
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	50	
最高使用圧力	MPa	1.03	
最高使用温度	℃	40	
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	1346.2
	胴 板 厚 さ	mm	25.4
	鏡 板 厚 さ	mm	25.4
	高 さ	mm	2487
材 料	胴 板	—	ASME SA 516 Gr. 70
	鏡 板	—	ASME SA 516 Gr. 70
個 数	—	1 (1 系列あたり)	

## PH緩衝塔の寸法検査について（2 / 3）

- 各部位に対する測定箇所は、以下の通り。

部位	測定範囲	測定箇所	測定数
胴内径※	胴上部 (D1)	0°-180°,45°-225° 90°-270°,135°-315°	4箇所
	胴下部 (D2)	0°-180°,45°-225° 90°-270°,135°-315°	4箇所
胴板厚さ	胴上部 (T1)	0°,45°,90°,135°,180° 225°,270°,315°	8箇所
	胴下部 (T2)	0°,45°,90°,135°,180° 225°,270°,315°	8箇所
鏡板厚さ	上鏡 (T3)	0°,90°,180°,270°	4箇所
	下鏡 (T4)	0°,90°,180°,270°	4箇所
高さ	高さ (H1)	上鏡頂部～下鏡底部	1箇所

※：算出方法は、次頁参照



## PH緩衝塔の寸法検査について（3 / 3）

- 胴内径の測定方法は下記の通り。

- ①計測治具にて、PH緩衝塔側面を挟み込む。
- ②計測治具を容器から取り外す。
- ③取り外した計測治具間の外径寸法を記録する。
- ④③と測定と同じポイントの板厚を測定し記録する。
- ⑤胴内径寸法を次式（算出例）で算出する。

$$\text{胴内径} D1 (0^\circ\text{-}180^\circ) = \text{外径} (0^\circ\text{-}180^\circ) - [\text{胴板厚さ} (0^\circ) + \text{胴板厚さ} (180^\circ)]$$

